

もっと清水が好きになる。

しみずの風

2019

6

No.548



特集

持続可能な清水のミカン産業を目指す ～「清水みかん共和国」の取り組み～

 JALしみず

Photo
興津びわ部会の皆さんとJA職員
(撮影場所: 奥平峠)

『興津のびわ』は
大玉できれいな外観。
そして味が良い

グローイング フェイス
Glowing Face

いま、清水で
輝いている人たち

飯田 通義さん(70)

興津びわ部会 部会長



いいだ みちよし/ビワ、イチゴ、オンスジウムを栽培

「興津のびわ」を守るために
部会員一人ひとりが細心の
注意を払いながら栽培管理

市場での評価も高く「興津のびわ」のブランド名で知られるビワは、旧東海道の景勝地・薩埵峠周辺で栽培されている。傾斜地で水はけの良い園地が多く、特に南側斜面は駿河湾からの照り返しで日照量も豊富だ。冬でも冷気がたまらずビワ栽培の適地であるといわれている。そんなビワ園地を5月上旬に訪れた。

迎えてくれたのは興津びわ部会の飯田通義部会長だ。飯田さんは高校卒業後に就農。「若いころはミカンやキウイなどの栽培にも挑戦したが、現在栽培するビワ、イチゴ、オンスジウムが自分の性格にも合っているんじゃないかな」と話す。果実袋に包まれたビワを真剣な表情で見つめる飯田さん。「2月下旬から4月中旬にビワの摘果と袋かけをしたので、実の大きさや着色具合を確認している。袋かけはとも神経を使うけど、果実の色やツヤをよくするほか、雨風、害虫、鳥の被害などから守ってくれる。果実袋の種類は複数あり、それぞれ遮光率も異なる。陽の当たり方が園地や一本の木でも違うため着色をそろえるために使い分けているよ」と、管理

作業の難しさを話してくれた。

「気象状況を常に気にしつつ、ほかの農作物の栽培管理もあり、忙しい毎日だが、ビワの収穫時期になると、夏が近づいてきたなと実感する。「興津のびわ」は大玉でもきれいな外観。そして味が良いのが特長。それが一番の売りだね」とすてきな笑顔で話してくれた。

「部会員数は現在14人で管理面積は47アール。高齢化などで以前より少



■興津びわ部会では定期的に園地巡回し、部会員の情報共有を図っている





■ 実の大きさと着色具合を確認する飯田部会長



■ 袋かけされたピワ



■ 「興津のびわ」のパッケージ

なくなりましたが、それでも部会員一人ひとりがブランドである「興津のびわ」を守るために、栽培管理やパック詰めなど細心の注意を払いながら作業を行っているよ。ピワの木で大きいものは80〜90年たったものがある。部会員のピワの木も古くなってきたので、今後は新しい苗木を入れて、木の若返りを図りたい」と力を込めて話してくれた。

露地栽培のため6月の2〜3週間しか出荷されない貴重な「興津のびわ」。初夏の代表的な果物としての地位は今後も揺るがない。

C O N T E N T S

- 2 Glowing Face
飯田 通義 さん
- 4 特集/
持続可能な清水のミカン産業を目指す
〜「清水みかん共和国」の取り組み〜
- 8 TOPICS
- 10 チャレンジ家庭菜園「ラッカセイ」
- 12 7月の営農ワンポイント
- 15 遠山由美のこだわりレシピ
「駒豆のシューマイもどき」
- 16 とともに拓こう、協同が輝く時代
〜組合員に喜ばれる店舗作りを目指して〜
- 17 2019年度青壮年部・女性部 新役員紹介
- 18 Information
- 20 ワンパクしみずっ子
「興津南こども園」



しみの風の記事の一部を
Web 動画で配信!!



スマートフォン、タブレット、
パソコンから記事の一部が
動画でご覧いただけます。

「JAしみず 静岡商工会議所 業務提携契約 調印式」



特集

持続可能な 清水のミカン産業を目指す ～「清水みかん共和国」の取り組み～

地域農業が生産者の高齢化や、担い手不足などの問題を抱える中、営農所得向上や担い手の創出など持続可能な清水のミカン産業を目指そうと、当JAが進める「清水みかん共和国」プロジェクトの概要を本誌4月号で紹介しました。このたび、同プロジェクトの一環として、静岡県事業引継ぎ支援センターと業務提携契約を結んだほか、「清水みかん共和国」のジュースが完成しましたので、進行状況を紹介します。

Photo：左から

静岡商工会議所(中村彰宏 副会頭・酒井公夫 会頭) (株)クリアファーム(西村やす子 代表取締役社長)
JAしみず(柴田篤部 代表理事組合長・池田省一 常務理事)

清水みかん共和国とは

清水のミカン産業を持続可能にする仕組みづくりを目指すため、アドバイザリー、地域商社、事業承継サポート機関の各団体が持つ専門的なノウハウを当JAに結集して、高齢化や次世代の担い手確保、農業所得向上などの課題に取り組むプロジェクトとして「清水みかん共和国」を昨年度から立ち上げ、打ち合わせを重ねてきました。

連携する各団体は、アドバイス業務を務めるアドバイザリーの「(株)クレアファーム」、商品開発などを行う地域商社の「(株)ふじのくに物産」、新規就農者などを紹介する「静岡県事業引継ぎ支援センター(静岡商工会議所内)」の3つの団体。

地域農業がさまざまな課題を抱える中、当JAが農家とのつながりを生かしたプラットフォームとなることで、各団体が専門分野を生かした事業展開を行い、清水区産ミカンのブランド力強化・加工品の商品化と販売・農業の事業承継支援・新規就農者の受け入れサポートなどを総合的に進めています。



これまでJA本店で打ち合わせを重ねてきた関係者



関係者やマスコミ各社が見守るなか行われた調印式

静岡県事業引継ぎ支援センターと業務提携契約

当JAは4月24日、「清水みかん共和国」プロジェクトの一環として、静岡県事業引継ぎ支援センターと業務提携契約を結びました。各都道府県に設置されている支援センターがJAと提携するのは全国初です。

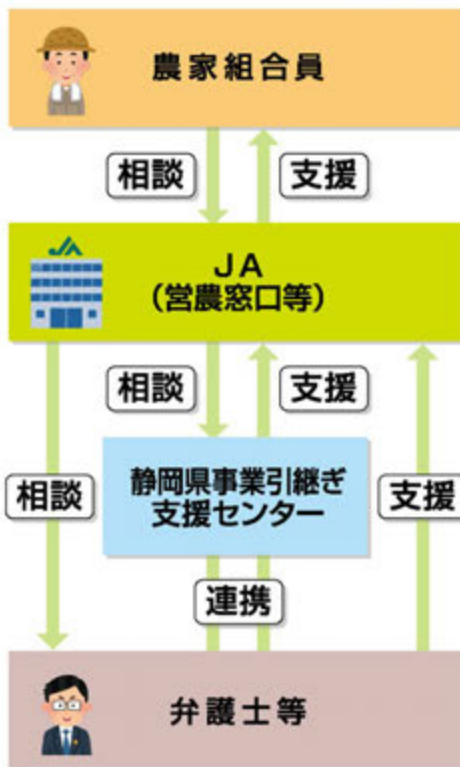
事業承継手続きを個人で行う場合、後継者を見つけ出すことから始まり、取引先との関係引継ぎ、必要な行政手続きや、税務上の処理などにかかる手間と負担は非常に大きなものになります。今回の業務提携は、これらの負担を少なくすること

が狙いです。

また、事業承継の相談にあたってはセンチティブな情報を踏まえて進める必要があります。窓口をJA一つにして、手続きの負担軽減と、支援センターの後継者人材バンクや、相談機能を生かしたスムーズな事業承継を目指します。

静岡商工会議所静岡事務所での調印式では、当JAの柴田篤郎組合長と同商工会議所の酒井公夫頭が業務提携契約書に調印。アドバイザリーを務める(株)クレアファームの西村やす子代表も同席して協力を確認しました。

担い手確保 連携イメージ図



農家組合員の事業承継を円滑に進める概要

1 事業承継に関する相談の受付

- JAしみずは農家組合員から事業承継に関する相談を受け付けた場合、支援センターと連携が必要な場合は、農家組合員の課題解決に向けて支援センターと連携して行います。
- 支援センター単独での支援では不十分な場合には、弁護士や税理士などの外部専門家等と連携して対応を行います。

2 事業承継実現に向けた支援

- JAしみずや支援センターは、農家組合員の事業承継実現に向けた課題解決のために具体的な支援が必要な場合には、(株)クリアファームなどと連携して対応します。
- また、後継者不在の農家組合員が後継者候補の紹介を希望する場合には、支援センターが静岡県後継者人材バンクに登録した新規就農希望者などを紹介します。

3 事業承継セミナーへの協力

- JAしみずが事業承継の重要性普及のためセミナーなどを開催する場合、企画運営に関し、支援センターは講師派遣等の協力を行います。
- また、事業承継セミナーなど開催にあたっては支援センターからの情報提供や参加案内など、農家組合員の事業承継に対する理解を深めるために相互に協力を行います。

JAしみず
柑橘委員会
永井 眞里
委員長



高齢化や担い手不足はどの産地でも抱える問題。事業承継がスムーズにできることを期待したい。また、規格外のミカンを加工して商品化することで、若い方にもミカンの魅力を知ってもらいたい。

JAしみず
柴田 篤郎
組合長



これまで、農業は親族内の世代引き継ぎが当たり前だった。一般の方が農家に参入しやすくなった今、幅広くアンテナを広げて、情報をもらいながら農業・JAの発展に努めたい。

「清水みかん共和国」 ジュース完成

「清水みかん共和国」プロジェクトの第一弾商品として、当JAは、(株)クレアファーム、(株)ふじのくに物産と連携し、規格外品を使ったミカンジュースを開発しました。

規格外品のミカンは外皮に傷があるもの、サイズが極端に大きいものや小さいものが対象となり、味は良くても生食用として市場出荷できない果実です。規格外品は安価に取引されるため、出荷せずに破棄してしまう農家も少なくありません。当JA管内では、年間約200トンあります。味は良いのに、規格外となるミカンを商品化して価格向上の手助けができないかと試行錯誤して作りました。

ジュースの特徴は、お子さまから幅広い世代の方をターゲットにした、100%果汁にこだわりました。農家からのおすそわけという意味で、ロゴマークは、風呂敷をモチーフに、ミカンの果実と富士山をデザインしました。まずは、JAアンテナショップきらりりで5月25日(土)から販売をスタートし、都内のホテ

清水みかん共和国

SHIMIZU Mikan Republic

OSUSOWAKE

-2019-

商品名：清水みかん共和国

OSUSOWAKE2019

容量：720ml

価格：1,280円(税抜き)

販売量：初回3,000本限定販売
(約10tを搾汁)

アンテナショップきらりりで販売中



清水みかん共和国ジュース

ルや土産店などでの販売も予定しています。また6月1日(土)からはインターネットでも販売を行なっています。

当JAでは各関係団体と連携することで、商品開発のノウハウや販売チャンネルを生かした売れる商品の展開を期待しており、ミカンジュースのパッケージを毎年変更しながら展開するほか、シリーズ品の商品化も検討しています。

共和国ジュース 充填の様子

100%果汁に
こだわった農家から
のおすそわけジュースの
完成です。



JAしみずが、各地域の活動やイベントなど、さまざまな話題を独自に取材し、ご紹介いたします。

新茶シーズンスタート

新茶初取引で「高嶺の香」^{はな}40年連続最高値に

両河内地域の茶生産者で組織する両河内茶業会は4月17日、両河内産の最高級茶「高嶺の香」の手摘みを清地の専用茶園で行いました。

会員らはこれまで夏場のかん水や、よりうま味を出すために遮光ネットで日光をさえぎるなど、手間をかけ新茶初取引を迎えるために細心の注意を払い管理してきました。茶業会員や地域の有志ら約80人は、「一芯二葉」でひと芽ひと芽丁寧に約40kgの新芽を摘み取り、約5kgに製茶。

4月19日の静岡茶市場新茶初取引では、40年連続で最高値(機械製茶)をつけ、1kg 88,800円で取引されました。



▲両河内茶業会の「高嶺の香」の取引で、手合わせの音が威勢よく鳴り響き、機械製茶で40年連続最高値をつけた。



▲新茶初取引に向け丁寧に摘み取る茶娘姿の参加者

同会の小林俊亮会長は「新芽は力強く、できも良い。茶産地・両河内の名を消費者に知ってもらいたい」と話していました。また、今シーズンは40年連続最高値の節目の年となったことから、両河内茶業会は製茶問屋の和田長治商店への感謝状の贈呈式を行いました。



▲感謝状を贈呈した両河内茶業会と製茶問屋など関係者による記念撮影



▲新茶を求め大勢の来店客でにぎわった新茶フェスタ

初取引茶「高嶺の香」は、アンテナショップきらりてで4月21日から数量限定で販売を開始し、新茶フェスタ期間中の5月5日には同店で両河内茶業会関係者による呈茶も行われ、大勢の来店客でにぎわいました。

ハーベストカレッジ

4月17日開催/ハーベストキッチン
お酢を使った料理を作ろう!

受講生たちは、高部支店調理室でAコープ商品の「らっきょう酢」「五倍酢」「ほめられ酢」の3つを使った料理に挑戦しました。

講師には酢を製造する大興産業株式会社の鳥越和泉さんを迎えて、酢の特徴を生かした手軽な調理法を学び、「鶏肉ウイングスティックの酢醤油煮」「豚ひき肉のサンラータン」「ほめられ酢のポテトサラダ」の3品を協力して作りました。

受講生たちからは「酢を使った料理のレパートリーが広がってうれしい」などといった声が聞かれました。



酢の特徴を学び調理実習をした受講生

フジエス枝豆委員会 目ぞろえ会
エダマメ「駒豆」100万袋以上の出荷を維持

フジエス枝豆委員会は4月16日、駒越営農拠点でエダマメの目ぞろえ会を開きました。出荷最盛期を控え、生産者や取引市場、静岡県、JA静岡経済連、JA担当者など約60人が参加しました。

同委員会では、主力商品であるエダマメ「駒豆」の100万袋(1袋200g入)以上の出荷を維持し、売り上げ3億円を目標に掲げています。

同委員会の斉藤恭市委員長は「目標達成のためには、いままで以上に生産者、JA、市場が一体感をもって産地を盛り上げよう」と呼びかけていました。



真剣な表情でフジエスブランドのエダマメ「駒豆」の目ぞろえした生産者

庵原支店改修工事起工式
より地域に寄り添った支店を目指す

当JA庵原支店の改修工事の起工式が4月22日、同支店で行われました。関係者ら約20人が参加し、工事の安全を祈願しました。

同支店は昭和54年に建てられ今年で40年となることから、これまで新築か改修工事を行うか協議してきました。事前の耐震診断結果では問題ありませんでしたが、支店利用者に不便が少ないよう改修工事となりました。柴田篤郎組合長は「これまで以上、地域に寄り添った支店にしていきたい」と話していました。改修工事の終了は10月末を予定しています。

庵原支店改修工事起工式であいさつし、工事の安全を願った柴田篤郎組合長



就労継続支援B型施設に肥料寄贈
伊豆川飼料株式会社取り組みに賛同



伊豆川飼料株式会社は4月17日、農業等を通じて障害者の就労支援を行う株式会社nanairoに、有機配合肥料「しみずの恵」400kgを無償提供しました。当JAでは地元農家とともに、耕作放棄地の解消や地域福祉への貢献を目的に栽培指導などの支援を行っており、取り組みに賛同する同社では2013年より毎年肥料を寄贈しています。

同施設長の池田都さんは「4月に開所したばかりの新しい施設。利用者とともにいい汗をかきながら、提供いただいた肥料でエダマメやピーマン、トウモロコシなどを栽培したい」と話していました。

肥料を寄贈した伊豆川社長(中央右)とnanairoのメンバー

ラッカセイを育てる

ラッカセイは、石灰分が不足すると空ざやになりやすいので、苦土石灰を施して畑を準備します。また、窒素分が効きすぎると「つるぼけ」になりやすいので、肥料は控えめにしましょう。分枝し株が広がってきたら、土寄せをして子房柄が土中へ潜り込むのを助けます。この時、立ち性品種と這性品種のつるの広がり方の違いを考慮して適切に行うようにします。さやがおおむね肥大したころ収穫します。完熟すればピーナッツですが、未熟なうちに早採りしてゆで食べるのもおいしいものです。



家庭菜園



苦土石灰

1 畑の準備

<1㎡あたり>

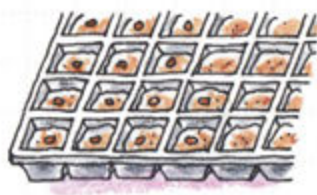
種まき・植えつけの半月くらい前に苦土石灰
大さじ3~5杯まいて、畑をよく耕しておく。



本葉2枚の
苗に仕上げる。



指先で
1cm深さに
押し込む。



72穴セルトレイに
1粒ずつまく。

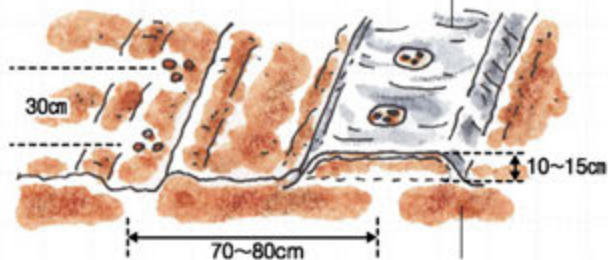
育苗する場合

2 種まき・植えつけ



種を一昼夜ほど水に浸して吸水させる。

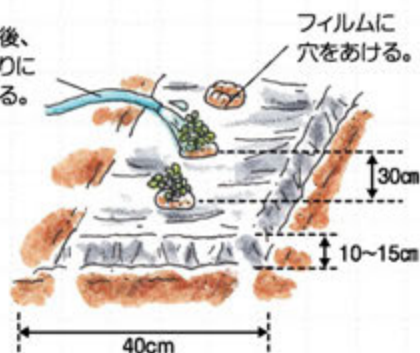
マルチ栽培の際は1か所2~3粒の種を
まき、4~5cmになったら、2本に間引く。



畝は高めに
つくっておく。

直まきする場合

植えつけ後、
株のまわりか
かん水する。



マルチ栽培のときは、最初から畝を高めに
つくっておき、土寄せはとくに行わない。

栽培カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普通栽培(直まき)					●	●				■		
マルチ栽培(直まき)					●	●				■		

*育苗の場合：種まき時期は直まきと同様で本葉2枚(約3~4週間)になったら定植します。

● 種まき ■ 収穫

グリーンセンター直売

2018年6月の売上ランキング

1位	トマト
2位	梅
3位	甘夏
4位	赤しそ
5位	切花



集出荷センター
054-367-6111

3 追肥

マルチ栽培の場合は、フィルムに穴をあけて施す。



株の側方に肥料をばらまき、竹べら、木の棒などで土に混ぜ込む。

側枝が伸び始めたころ有機化成10号を施す。窒素が効きすぎるとつるぼけ状態になり、着莢(ちゃつきょう)が不良となるため注意。

分枝した枝の周辺にやや広めに土を寄せる。



這り性品種の場合

株元付近の約15cmくらいの範囲に土を寄せる。



立ち性品種の場合

4 土寄せ

普通栽培の場合は、草丈が30~40cmに伸び、分枝してきたころ、マルチ栽培の場合は、花の咲き始め(7月上旬頃)にマルチを取り除き、株元に土を寄せる。



土中でさやが太ってきた状態。



子房(さや)

マルチ用フィルム(0.02mm厚の薄いもの)なら子房柄は貫通して土中に入る。

開化後数日たつと子房柄が地面に向かって伸び始め、土中に潜入する。その後4~5日で子房が太り始める。

完熟子実どり

さやの網目がはっきりして肥大しきったころ。



株ごと数日畑に広げてよく乾かす。

さやのまま乾燥させ食べるときに炒ってピーナッツとして食べる。

未熟子実どり



子実をさやごとゆでて、実を取り出して食べる。



さやがおおむね肥大したころ。

5 収穫



株のまわりに鍬を入れて試し掘りする。株を浮かせて引き抜くとよい。

■ 施肥例

施肥量：1坪あたり

時期	種類	施肥量	施用時期・方法
元肥	苦土石灰	300g	植付け20日前に施用
	朝鮮高原の牛ふん堆肥	3kg	植付け10~15日前に施用
	有機化成10号	75g	
追肥	有機化成10号	25g	側枝が伸び始めたころ

■ 病害虫防除

散布量：1畝以内/1坪

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率、使用量	使用時期	使用回数
褐斑病・そうか病・黒洗病・茎腐病	ベンレート水和剤	2,000~3,000倍	収穫7日前まで	4回以内
アブラムシ類・カメムシ類	スミチオン乳剤	1,000~2,000倍	収穫21日前まで	4回以内
ハスモンヨトウ・マメシクイガ	トレボン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内

※らっかせいは「豆類(種実)」に分類されます。

上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。 **ご注意ください** 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。 ※農薬は、ラベルに記載された安全基準を守って使用しましょう。 ※ポジティブリスト制度を守り、農薬等の散布には十分注意してください。



7月の営農ワンポイント

茶

二番茶摘採以降は、翌年の一番茶に向けた茶樹づくりと土づくりの季節となります。



翌年の一番茶の親葉となる三番茶の生育が、来年の収量や品質に大きく影響しますので、しっかりと健全に生育させるよう、特に病害虫による加害に注意して管理を行ってください。

● 二番茶収穫以降はハサミを入れない

夏から秋にかけて健全な葉を多く確保することにより、養分生成能力が高まるとともに根張りも良くなり、総合的に翌年の一番茶の品質を高めることに繋がります。

そのためにも、二番茶摘採後は、整枝を含め、浅刈り・深刈り更新は行わず、秋までしっかりと伸ばし、樹勢の回復を図ってください。
※放任管理とは異なりますので、確実な防除・施肥管理を実施してください。

● 防 除

三番茶芽の萌芽から開葉期にかけては、高温多湿の日が多くなることから、病害虫の発生が増加します。病害虫に加害されますと、側芽が伸び、弱い芽が増加し、翌年の一番茶収量や品質に影響を及ぼすため、こまめに圃地を巡回し、基準に沿った適期防除を実施してください。

一番茶後に更新した茶園では、再生芽の生育ステージに合わせて防除を実施してください。

表① 防 除
【通常管理園】

時期	病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
三番茶 萌芽～1葉開葉期	炭疽病・もち病・新梢枯死症・輪斑病	フロンサイドSC	2,000倍	14日	1回
	チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ ツマグロアオカスミカメ	ウララDF	2,000倍	7日	1回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャハマキ・チャノコカクモンハマキ チャノホソガ・ヨモギエダシヤク	ディアナSC	5,000倍	前日	1回
三番茶 2～3葉開葉期	炭疽病・もち病・褐色円星病	インダーフロアブル	5,000倍	7日	2回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ・チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシヤク・カンザワハダニ・チャノナガサビダニ チャノホコリダニ・マダラカサハラハムシ	コテツフロアブル	2,000倍	7日	2回

【一番茶後更新園】

時期	病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
更新後の 萌芽期～開葉期	炭疽病・もち病・新梢枯死症・褐色円星病	コサイド3000	1,000倍	14日	-
	チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ・ツマグロアオカスミカメ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	7日	2回
2～3葉 開葉期	炭疽病・もち病・新梢枯死症・褐色円星病	オンリーワンフロアブル	2,000倍	7日	2回
	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ ツマグロアオカスミカメ	ウララDF	2,000倍	7日	1回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャハマキ・チャノコカクモンハマキ チャノホソガ・ヨモギエダシヤク	ディアナSC	5,000倍	前日	1回

● 土 壌 管 理

茶樹が良好に生育するためには、肥料の施用のほか、土づくりが重要です。

化学性の改善(pHの矯正、苦土・石灰の補給)や物理性の改善(深耕や堆肥の投入)は、土壌環境の改善(肥料吸収率の向上・根の張りの良化)を図り、収量や品質の向上に繋がります。

土壌分析の結果から、茶園土壌の状態を見極めて、必要な資材を積極的に茶園に投入するようにお願い致します。

表②施肥

施肥名	施肥時期	コース名	肥料名	袋数
土壌改良	7月～8月(深耕前)	「基本」「樹上・省力」 「芽重・良質茶」	苦土石灰(粉)	5袋

※苦土石灰(粉)が搬きにくい場合は、苦土石灰(粒)に変更してください。



柑橘

● 病害虫防除

黒点病薬剤散布後からの累積降水量がおおむね250mmを超えると薬剤効果が低下します。農薬散布は前回散布以降の降水量を把握し、適時実施してください。スリップスの発生に注意し、散布時期を調整してください。

● 管理作業

中晩柑は早期に摘果することにより、酸の低い大きな果実が生産できます。また、樹勢の維持や連年安定生産にもつながります。青島温州では隔年結果是正のため、着果が著しく多い樹に対して樹冠上部摘果、または枝別全摘果に取り組みください。表①②③を参考に摘果に取り組みましょう。摘果後、夏芽が発生します。発生した夏芽がミカンハモグリガやアゲハチョウの幼虫の被害を受けないように追加防除が必要になります。

表①管理作業(柑橘)

品目	対象品種	全摘果する果実	残す果実	摘果方法	摘果時期目安	最終適正果実比	
中晩柑	はるみ	直花実、軸太果、樹上1/3(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	・外周部の有葉果 ・10cm以上で 5枚程度の有葉果 ・果梗枝の細い 有葉果	1回目70~80%を摘果後、 その都度摘果	着果過多樹	生理落果後~ 8月中旬	120枚に1果
					着果過少樹	7月下旬~ 8月中旬	
	太田ポンカン	直花実、短い有葉果、軸太果、樹上1/3(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	直花実、短い有葉果から摘果	生理落果後~9月上旬まで	100~120枚に1果		
	不知火			1回で摘果を仕上げる	生理落果後~7月中旬まで	120枚に1果	
清見		1回目70~80%を摘果後、その都度摘果	生理落果後~7月中旬まで	80~120枚に1果			

※着果の多い樹から摘果に取り組みください。

表②管理作業(柑橘)

品目	摘果方法	条件	摘果方法	摘果終了時期目安
青島温州	樹冠上部全摘果	春芽の発生が全くない場合	上部1/2を全摘果	早生：7月上旬 青島：7月中旬
		春芽の発生が少ない場合	上部1/3を全摘果	
	枝別全摘果	着果量が著しく多い場合	直径5cm程度の枝を4本全摘果	
	半樹全摘果		樹を半分に分け、片方を全摘果	



表③病害虫防除(柑橘)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}	茶登録
青島温州	7月上中旬	チャノキイロアザミクマ	エクシレルSE	5,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	×
	7月下旬~8月上旬	チャノキイロアザミクマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	×
中晩柑	7月上中旬	チャノキイロアザミクマ	エクシレルSE	5,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回	×
	7月下旬~8月上旬	チャノキイロアザミクマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回	×

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」を
あらしめます。

(その他注意点) 温州・中晩柑 共通

・ロウムシが多発している場合には、トランスフォームフロアブル2,000倍(前日-3回)を散布する。
・夏期は原則ミカンハダニの天敵保護に努める。しかし、多発時にはコロマイト水和剤2,000倍(7日-2回)を散布する。

落葉果樹

● 管理作業

乾燥期は適宜かん水に心掛けてください。イチジクは、葉や果実に水がかからないよう注意してください。キウイフルーツ、カキにおいて、枝葉が過繁茂となっている場合は適度に夏季せん定を実施してください。



● 病害虫防除

カキのカキノハタムシガについて、虫が果実に侵入した後では薬剤散布の効果がありません。侵入前の防除を実施しましょう。害虫は発生初期が防除のタイミングです。表を参考に防除してください。

表④病害虫防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹虫害防除協会発行現地誌より抜粋

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}
イチジク ^{※2}	7月上旬	アザミクマ類、キボシカミキリ	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2,000倍	前日-3回
		さび病	トリフミン水和剤	2,000倍	7日-3回
	7月中旬	黒かび病	トップジンM水和剤	1,000倍	7日-5回
		カンザフハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	前日-1回
柿 ^{※3} (次郎、四ツ満)	7月上旬	落葉病、炭疽病	エムダイファー水和剤 または、ベンコゼブ水和剤	500倍	45日-2回
	7月中旬	カキノハタムシガ、ハマキムシ類	フェニックスフロアブル	4,000倍	7日-2回
			または、サムコルフフロアブル10	5,000倍	前日-3回
キウイフルーツ (ハイワード)	7月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤 または、ロブラール水和剤	1,000倍	前日-5回 前日-4回
	7月中旬	クワシロカイガラムシ	アブロード水和剤	1,000倍	前日-2回
		果実軟腐病	トップジンM水和剤		前日-5回
	7月中旬	果実軟腐病	ロブラール水和剤	1,000倍	前日-4回
クワシロカイガラムシ		アブロード水和剤	前日-2回		
梨(幸水、豊水)	7月上旬	輪紋病・黒星病	ベンレート水和剤	3,000倍	前日-4回
		ハマキムシ類、シンクイムシ類	フェニックスフロアブル	4,000倍	前日-2回
	7月中旬	ハマキムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類	テルスター水和剤	1,000倍	前日-2回
		輪紋病、黒星病	ストロビードライフロアブル	3,000倍	前日-3回
7月下旬 ^{※4}	シンクイムシ類、カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらしめます。 ※2 アザミクマ類の多発が心配される場合は7-9月に次のいずれかの薬剤を散布する。アディオン乳剤2,000倍(前日-2回)、スカウトフロアブル(劇)2,000倍(前日-3回)、コテップフロアブル(劇)2,000倍(前日-2回)(対象はヒラズハナアザミクマ) ※3 カメムシの発生が多い場合は、次のいずれかの薬剤を散布する。テルスターフロアブル(劇)3,000倍(3日-2回)、ロディー水和剤(劇)1,500倍(7日-3回)、アグロスリン水和剤(劇)1,000倍(前日-3回)、スタークル顆粒水溶剤2,000倍(前日-3回)、アドマイヤー水和剤(劇)1,000倍(7日-3回)、クラップフロアブル2,000倍(7日-2回) ※4 7月下旬にハダニ類が多発した場合は、カネマイトフロアブル1,000倍(前日-1回)、またはスターマイトフロアブル2,000倍(前日-1回)を散布する。



花卉

● バラの管理

アーチング栽培では、収穫を続けながら適宜折り曲げを実施し、力枝を増やします。切り上げ栽培では、できる限り柔らかめのピンチを行い、樹勢をつけながら仕立てます。極端なハードピンチは樹勢を弱めますので、避けるようにしてください。

この季節は特に害虫が増加しますので、害虫の温床とならないように裾花や不要となった枝の処理を行い、薬剤散布を定期的に行いましょう。



● オンシジウムの管理

梅雨明け後は、気温の上昇に伴いリードの生長が活発になります。収量と上位等級の発生率を向上させるため、各株のバルブの状態を確認し、複数のリードを1~2つに整理します。

リードが伸びるこの時期は、吸水量が多いため、かん水不足やかけムラには特に注意してください。また、暑い時期の植え替えや株分けは、活着が悪く花芽が飛ぶ原因となりますので控えましょう。



イチゴ

● 炭そ病対策

① 早期発見

ランナー・葉柄・葉の病斑や樹勢を確認し、疑わしい株や発病株は周辺の株も含め、培土とともに早期に除去します。

② 発生しにくい環境をつくる

弱いランナーの摘除や、ランナーを適切に配置し、健全苗を作りましょう。苗は混みすぎないように管理し、風通しをよくします。施設内は寒冷紗等で温度を下げ、高温多湿条件が続かないようにしましょう。



● 病虫害対策

定期防除や降雨後の防除のほか、傷口からの病原菌の侵入を防ぐため、葉かきなどの作業後には必ず防除を行います。また、アザミウマ・ホコリダニ等の発生にも注意しましょう。

● ランナー切り離しとポット育苗

育苗日数の確保は充実した苗作りにつながります。しかし小型ポットでは、切り離し後の育苗期間が長いと苗の老化や根詰まりの発生、夏期の高温による負担も増加するため注意が必要です。

紅ほっぺ・きらび香共通

8月上旬を目標に行い、40~50日程度の育苗日数を確保します。小型ポットは8月中旬以降の切り離しをお勧めします。

● 育苗期の追肥

肥料切れしないよう、切り離し以後1~2回追肥をします。1回目は切り離し後すぐに、IB化成S1号1~2粒/鉢(小型ポットでは1粒が限度)を施用してください。

水稻

● 中干しの重要性

水稻では、穂になる茎数(有効分けつ)が確保されるまでに田植えから30~35日掛かり、それ以降(田植え後35日~出穂前30日ごろ)に増える茎は穂の実らない不要な茎(無効分けつ)となります。この無効分けつを抑えるために、中干しを行います。

中干しは、田植え後30~40日ごろを目安に、1株あたりの茎数が20本程度になった時期に開始します。中干しの程度は田面に小さなヒビが入り、軽く足跡が付く程度です。目安は約2週間ですが、地力や排水性など土質の条件に応じて強さや期間を調節してください。

施肥省力コース(元肥一回処理)の場合は、中間の肥効を抑えるために必ず行います。また、中干し後の入水により肥料(穂肥と同じ効果)が効きますので、穂肥時期に入水するようにしてください。

● 穂肥の施用

穂肥は一穂粒数の減少を抑え、出穂期までの稲体窒素濃度を高め、登熟を良好にすることを目的としています。ただし、穂肥の使用時期が早すぎたり、量が多すぎると病害や倒伏が発生しやすく、遅れると、穂が小さく粒数が減少する傾向があります。



遠山由美の



こだわり♪ レ・シ・ピ



3ページQRコードでチェック!



駒豆のシューマイもどき

～蒸し器がなくても大丈夫!フライパンで「食べたらしューマイ」!～

材 料 2人分

駒豆……………1/2袋
水……………500ml
粗塩……………20g

シューマイのタネ

豚ひき肉……………300g
塩……………小さじ1/2杯
葉ショウガ……………30g
新タマネギ……………1/2個
片栗粉……………大さじ2杯

調味料A

顆粒鶏ガラスープ……………小さじ1杯
砂糖……………大さじ2杯
醤油……………大さじ2杯
オイスターソース……………大さじ1杯
紹興酒……………大さじ1杯

ゴマ油……………大さじ1杯
シューマイの皮……………約70g

からし味噌マヨネーズ

マヨネーズ……………大さじ1杯
信州味噌(辛口)……………小さじ1杯
練り和からし……………小さじ1/2杯
塩……………少々

作 り 方

1. 駒豆は塩ゆでする

駒豆を洗い、サヤの両端をはさみで切る。粗塩の1/4程度をまぶし、塩もみする。熱湯に残りの塩を加え、3分半ゆでてザルに上げ、冷ます。サヤから出し、飾り用に10粒程取り分けておく。

2. シューマイの具材を準備する

葉ショウガは5mm角に刻む。タマネギは8mm角に切ってポリ袋に入れ、片栗粉をまぶす。クッキングシートを直径30cmの円に切り、フライパンに敷く。シューマイの皮をはさみで5mm幅に切り、半量を全体に敷く。

3. シューマイのタネを作る

大き目のボールに豚ひき肉と塩を入れ、粘りが出るまでこねる。Aを順に加え混ぜる。駒豆、葉ショウガを加えて混ぜてから、タマネギを加え、しっかり混ぜる。最後にゴマ油も加えて混ぜる。

4. 蒸す準備をする

フライパンの上に3で作ったタネを1cm厚さに広げる。1で取っておいた駒豆を中心部に飾り、周りに残りのシューマイの皮を散らす。

5. フライパンで蒸す

クッキングシートの下に水200mlを静かに注いで点火する。沸騰したらフタをし、弱めの中火で8分蒸す。ひき肉に火が通りシューマイの皮が半透明に透き通っていれば蒸しあがり。からし味噌マヨネーズの材料を混ぜ、添える。

枝付き枝豆 「駒豆」



「駒豆」はアンテナショップきらりや市内スーパーなどで販売しています。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ
NR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

旬のまめ知識



駒 豆

日本人の食事摂取基準ではエネルギー換算で「全食事のうち13～20%の摂取が適当」とされるタンパク質。「1日に、体重1kg当たり1g程度のタンパク質を摂る」「毎食、自分の手のひらの大きさ・厚みと同程度のタンパク質が多い食品を摂る」との表現もあります。アミノ酸バランスが良く、体内での利用・吸収率も高い動物性タンパク質は重要ですが、脂質異常症や腸内環境に配慮すると植物性タンパク質も大切。ゆでた枝豆正味100g(=駒豆1袋分程度)には11.5gのタンパク質が含まれます。

協同が 輝く時代



組合員・地域住民の皆さまの農業所得向上とくらしの豊かさの実現のため、当JAが取り組む活動を取り上げます。



JAと共同運営している「農家の店しんしん内原店」

組合員に喜ばれる店舗作りを目指して【前編】

購買事業の取り組み

購買事業では生産資材価格を引き下げようと、さまざまな仕入れ強化の取り組みを進めてきました。

昨年度の取り組み強化策

- ① 農家のニーズに合った肥料の開発を目指してコンペ方式の導入
- ② 入札方式による農薬281品目の価格決定
- ③ 他JAとの農薬20品目の共同仕入れ
- ④ 価格調査を行い、農薬23品目をホームセンター価格と同額に値下げ
- ⑤ 新規取引業者の開拓のため、以前より、農業資材量販店「農家の店しんしん」を展開するアイアグリ(株)に注目し、10月15日には視察を行いました。

アイアグリ(株)を視察して

全国的にJAが購買事業に苦戦する中、2002年の創業以来、着実に業績を伸ばし、2018年には、131億円を売り上げています(全国40店舗の内、静岡県内4店舗)。取扱アイテムの多さや、顧客から

クレームがあった商品は、即座に棚から引き揚げ、原因を追究したうえで対策を講じるなど「顧客第一主義」を徹底する取り組みは、当JAも協働できる企業理念と言えます。

当JAが同社の商品取り扱いを申し出たところ、静岡県の販売権の調整が必要であるものの、検討をいただけることになりました。

4月1日 アイアグリ(株)と取扱基本契約

当JA管内の若手生産者からも、取り扱いを要望されていたこともあり、協議を重ねた結果、2019年4月1日に取扱基本契約の締結に至りました。契約締結前に、グリーンセンターにおいて、同社のプライベートブランド商品である除草剤(コンパカレール・根も葉も枯れる)の試験販売を行いました。予想以上の反響がありました。

現在は、コンパカレールを各営農拠点に配置しています。また、各生産物組織に「商品カタログ」を配布し、組合員の皆様に提案を行っています。今後、生産資材のコンペ・入札にも参加いただく予定です。

次号へ続く



アイアグリ(株)と取扱基本契約を締結(木村社長(左)と池田営農経済担当常務)



コンパカレールと商品カタログ



※中部営農センターにあります



2019年度JAしみず 女性部新役員



部長
赤堀 岳子
(飯田)



副部長
柿澤 晶子
(小島)



副部長
鍋田 直美
(清水)

【支部長】

【美津】石川久美子
【小島】山梨 政子
【両河内】笠原 浩美
【滝原】小澤 節子
【池原】鈴木 信枝
【東田】松永真智子

【高瀬】望月和加代
【清水】堀 智恵子
【有度】奥山美美子
【由比】望月美代子
【滝原】服部 博美

【監査委員】

【滝原】大石 泰子
【高瀬】大石 初枝



2019年度JAしみず 青壮年部新役員



副部長兼推進委員
望月 崇弘
(滝原)



部長
堀池 洋希
(有度)



副部長
池田 進吾
(清水)



副部長
望月 崇久
(由比・滝原)



副部長
滝 敏弘
(両河内)

【支部長】

【美津】内藤 繁樹
【小島】池ヶ谷 重孝
【両河内】細川 友朗
【滝原】高田 啓祐
【池原】池田 育生

【東田】牧田 明
【高瀬】青木 雄基
【清水】池田 進吾
【有度】古澤 重則
【由比・滝原】望月 隆秀

【監査委員】

【池原】鈴木 啓文
【滝原】草ヶ谷 剛

【顧問】

【美津】杉山 祥丈

第46回女性部通常総会



女性部は4月11日、清水テルサで第46回女性部通常総会を開き、2018年度の事業報告、収支決算、2019年度の事業計画、新役員が承認されました。

2019年度は、女性部3か年計画「伝えよう・つながろう・広げよう」の最終年度。2年目を務める赤堀岳子部長は「仲間づくりやA運営への参画をさらにすすめていこう」と呼びかけました。

第46回青壮年部通常総会



青壮年部は4月16日、清水支店で第46回青壮年部通常総会を開き、2019年度の事業計画のスローガン「支部活動の強化」など全4議案を承認しました。

部長には堀池洋希さんを再任し、昨年度に引き続き、有害鳥獣対策に注力すること、農家自らが地域を守る意識を定着させ、支部ごとの活動を活性化させていくことなどを確認しました。

景観の良い畑でゆったりミカンを取獲しませんか？

ミカン栽培に適した好条件の園地で、
おいしいミカンが取獲できる「ミカンオーナー」を募集します！

園地は、お子さんでも作業しやすいように平らに整備されていますので、
ゆったり、のんびり、取獲を楽しめます。取獲までの栽培や管理は、園主
が行います。取獲したミカンの地方発送も可能です。

- 園地の場所** 静岡市清水区庵原地域
原・新丹谷土地改良区内(新東名清水いはらIC周辺)
- オーナー期間** ご契約日から取獲終了(お届け)まで。
- 取 獲** 皆さまで取獲をお楽しみください。園主が栽培管理し、
契約コースに応じたミカンの樹をご提供します。
- 募集期間** 6月24日(月)～10月18日(金)まで
※ 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
- 料 金** 取獲量に応じてコースをお選びください。
20kgコース～
早生ミカン・青島ミカン共通 8,000円～



主 催 清水いはらミカンオーナー園主会

お申し込み・
お問い合わせ JALしみず農地整備課
(清水いはらミカンオーナー
園主会事務局)
TEL 054-367-3214
8:15～17:00(平日のみ)



<http://www.ja-shimizu.org/information/meeting/>

詳細は募集開始後にホームページに掲載します。

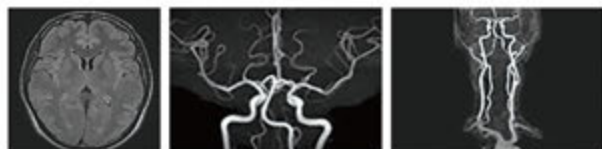
清水厚生病院健康管理センター

「脳ドック」のご案内



脳ドックとは、MRI検査で脳梗塞・脳腫瘍などの脳の病気や脳血管疾患を早期発見するための健康診断です。当院では1.5テスラの高い磁場を持つMRI装置を用いて、鮮明な画像で脳を見ることができます。また、磁場と電波で断層像を得ますので、X線被爆が無く、安心して検査を受けていただけます。

また、磁場と電波で断層像を得ますので、X線被爆が無く、安心して検査を受けていただけます。



検査項目

脳MRI検査 脳そのものを詳しく観察する検査です

脳の萎縮(認知症)、脳梗塞、脳腫瘍などがいないか、もしあればどの程度のものなのかを主に判定します。CTでは写し出せない小さな病変も捉えることができ、その他にも脳出血、硬膜下血腫、脳挫傷や変性疾患、脳炎などについても評価します。

脳MRA検査 脳の血液の流れを画像化して観察する検査です。

頭部～頸部の血管の状態を立体的に描き出すのがMRAです。脳の血流が途切れていたり、狭くなっていないか、こぶ状の脳動脈瘤がないかを主に判定します。その他にも、血管の奇形、動脈解離、血管炎などがいないかについても評価します。

頸部MRA検査 頸部の血管の状態を観察する検査です。

頸部には、脳や頸の組織に送る動脈が複数通っており、それぞれに開ける動脈の狭窄などの異常を知ることができます。

JA静岡厚生連 清水厚生病院 健康管理センター

TEL : 054-366-3769 (直通)
FAX : 054-366-3407 (直通)

- ☆ ドック、健康診断は全て予約制となっております。予約をご希望の方は、お電話または直接ご来院ください。
- ☆ JA組合員の方は、ドックに組合員料金がございまして、お気軽にお問い合わせください。
- ☆ 共済ドックは、JAよりご案内しておりますので、ご利用ください。

静岡市からのお知らせ

静岡市いきいき都市農業推進事業補助金のご案内

静岡市では、市街化区域内で農業を営む方を対象とした支援事業を行っています。

静岡市

支援

市街化区域内で
農業を
営む方



静岡市いきいき都市農業推進事業補助金の概要

補助金額

補助対象となる施設・機械の導入にかかる経費の1/2以内の額(上限30万円)※消費税抜き金額

対象 / 補助を受けられる人 次の条件を全て満たす人

- (1) 前年の農業収入が50万円以上の販売農家で、所得税または市県民税の申告があること
- (2) 市内に住所を有し、かつ市内に居住する農業経営主であること
- (3) 市内に市街化区域内の農地を所有し、農業を営んでいること(農地法第3条第1項による借地も可)

※申請は1経営体あたり年1回限りです。

※ 種苗、肥料、農業などの生産資材や、スコップ、鍬、剪定バサミ、軽トラック、パソコンなど汎用性のあるものは補助の対象になりません。

※ 事業の詳細や申請方法など不明な点は下記までお問合せください。

お問い合わせ

静岡市役所 農業政策課 農業支援係
静岡市清水区旭町6-8 清水庁舎6階
TEL : 054-354-2086

静岡市からのお知らせ

農業の6次産業化を応援します！

〈ふるさと農力チャレンジ事業〉

「新商品製造のため加工用機械を導入したい」、「新商品パッケージデザインを業者に依頼したい」といった、農業者が加工や販売を行うことで所得向上を目指す新たな取り組みに対し、補助する制度です。

補助の対象者

市内の農業者、農業法人及び農業者等が組織する団体
(新規事業に限ります)

補助対象事業

1. 農産物の加工用の機械・器具の導入
2. 新商品開発に伴うマーケティング調査・講習会等の開催
3. 農産物の販路拡大等を目的としたイベントの開催・出展 など

補助率と補助上限額

補助対象経費の2分の1
上限額20～50万円
(事業により異なります)

お問い合わせ

静岡市清水区旭町6番8号 清水庁舎6階
静岡市役所農業政策課 みかん・園芸・畜産係 TEL054-354-2091



理事会だより

議 事

定例理事会4月26日(金)

- 不良債権(個別債務者)の処理の方針について
- 令和元年度事業計画の設定について
- 定款の一部変更について
- 信用事業方法書(為替取引)及び(金銭債権の取得又は譲渡及びこれに附帯する事業)の一部変更について
- 宅地等供給事業実施規程の一部変更について
- 会計監査人の選任議案について
- 令和元年度理事・監事の役員報酬の総額について
- 令和元年度地域運営委員長の役員報酬の設定について
- 静岡市補助金等交付規則に基づく補助金の交付申請、請求、受領及び実績報告等についての権限の一切を組合に委任することについて
- 固定資産の質借について
- 静岡市土地改良連絡協議会との事務委託契約の締結について
- 組合員の出資口数減少の申し出について
- 令和元年度内部監査計画について



皆さんからの投稿大募集！

おたよりはもちろん、短歌、俳句、川柳、絵手紙、イラスト、写真など、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています！郵便番号、住所、氏名(必要の方はペンネーム)、年齢、電話番号、写真には簡単なコメントをお書き添えの上、ご応募ください。採用された方にはお米券を差し上げます。



携帯電話からの応募はこちら



〒424-0192
静岡市清水区庵原町1番地
JAしみず広報課 宛

FAX 054-364-8851

MAIL ja-shimizu@shimizu.ja-shizuoka.or.jp

庵原支店改修工事に伴う窓口移転のお知らせ

庵原支店改修工事のため、2019年5月から2019年11月上旬まで、支店内の一部窓口は下記の移転先で営業しております。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、金融・共済窓口は、引き続き支店で営業しております。

営農経済窓口

中部営農センター(配送センター)
静岡市清水区草ヶ谷626-1

組合員相談課

本店2階

旅行センター

静岡市清水区庵原町1



第47回JAしみず通常総代会のお知らせ

第47回通常総代会を以下のとおり開催します。

開催日

6月26日(水) 9:30開会

場 所

清水文化会館 マリナート
静岡市清水区島崎町214

議案(予定)

- 2018年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 2019年度事業計画の設定について 他

編集後記

ピワの取材に伺いました。袋かけされたピワは、細心の注意を払いながら収穫され、その後も、表面を傷つけないよう丁寧に箱詰め。農家の皆さんの苦労に頭がさがります。箱詰めなど出荷調整は、イチゴ、エダマメ、などでも手間がかかる作業です。いつもこの作業を簡略化できれば、もっと楽になるのにとお思います。(伊藤)

年に数回は訪れる薩埵峠。本誌2~3ページの取材で今回は訪れました。ピワの果実ごとに丁寧に袋かけされ、遠くから見るとまるで白い花のようでした。大玉できれいな外観の「興津のびわ」は清水に初夏の到来を告げる代表的な果物。皮をむいてかぶりつくと果汁が口の中に広がり幸せなひと時を堪能できます。(蒲生)

今月号のレシピ「シューマイもどき」は、シューマイを1つずつ包むのをやめ、巨大ハンバーグ状にしてフライパンで蒸し上げたもの。「手作りはしたいけれど、時間はあまり掛けられない」という忙しい主婦の皆さんにうれしい時短メニューです。三保・駒越特産のエダマメ「駒豆」を彩りに添えて、召し上がれ。(杉山)

JAのあじろ JAのあじろ JAのあじろ

JAのあじろ

2019年6月1日発行
(毎月1回1日発行)
通巻549号

JAのあじろ
JAのあじろ

発行 | 清水農業協同組合 〒424-0192 静岡県静岡市清水区東原町1番地
編集 | 経営企画課 TEL:054-367-3221 FAX:054-364-8851
http://www.ja-shimizu.org



とおりま〜す!!

お料理大好き!

興津南こども園
(清水区興津中町)

興津小学校や宗像神社に囲まれ、自然に恵まれた日当たりの良い園です。異年齢で交流が盛んで、子どもたちは元気に遊んでいます。



おともぞちたくさんでたすよ!

じょうずにできるよ!

いっぱい探れました



こんにちは

いえーい



出演募集
このコーナーでは、ご出演いただける清水区内のこども園や保育園、幼稚園を募集しています。詳しくは左記のJA広報課まで!

